

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



学校だより

12月号

横浜市立谷本小学校
令和2年11月30日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>

でんとうぶんか こころゆた
伝統文化で心豊かに

校長 和内 昭子

今年度から6年生は、宿泊体験学習ではなく、日光修学旅行を行い日本の歴史や世界遺産を通して自然や文化の学習を深めることとしました。



新型コロナウイルス感染対策のため、宿泊施設など密を避ける対策や消毒・健康管理に配慮しながらの修学旅行を行いました。お天気にも恵まれ、紅葉の時期とも重なり、一日目は雄大な華厳の滝や湯滝・龍頭の滝・中禅寺湖・男体山を見学することができました。二日目には世界文化遺産である日光東照宮の陽明門・鳴竜・眠り猫・三猿等をガイドさんの案内のもと見聞しました。

先日、「眠り猫」の作者「左 甚五郎」さんが作った「子育ての虎」が秩父神社にあるということを知り、見に行きました。子虎とたわむれる親虎の彫刻です。この作品を鑑賞しながら、秩父神社の「親の心得」を読みました。いつの時代でも「子育て」について、何が正しいのか親は考え模索しているのだなと感じました。そして、子どもの成長と共に、親も子育てを通して成長し、人として生きていくために何が大事かを考えながら子どもと向き合っていくことが大切であると思いました。

親の心得

- 「赤子には肌を離すな」
- 「幼児には手を離すな」
- 「子どもには眼を離すな」
- 「若者には心を離すな」

秩父神社



日光東照宮には「見ざる・言わざる・聞かざる」という三猿が有名ですが、秩父神社には「お元気三猿」と言われる「見て・聞いて・話す」元気者の猿を見ることができそうです。現在修復中で見学することができなかつたので、また、行ってみたいと思っています。その他にも「北辰の梟」「つなぎの龍」の彫刻もあり見所がたくさんありました。感染予防下ではありますが、機会があれば、日本の伝統文化を鑑賞しながら歴史の深さを学び、学ぶことの楽しさを学び、子どもも親も心豊かに生きていけることを願っています。

